



ANCHOR BIRDS®

http://anchor-birds.jp

内部コーントルク式

コンクリート用

W1/2・M12

インパクト(レンチ or ドライバー)で施工可能! 設置・撤去がスムーズに!!

(再) アンカー本体の再使用可能

※実寸サイズです



設置・撤去が簡単

安全を可視化

コンクリート表面の美観は錆計対策

再使用可

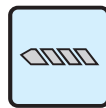
一般的なアンカーボルトはハンマーを使用し、打撃により強度を発現させるため、作業員の熟練度により強度のバラつきが発生する可能性があります。アンカーバードは、誰が施工してもインパクトレンチやインパクトドライバーで施工することにより、トルクの力で強度を発現し、引張強度のバラつきを最小限に抑えます。また、埋め込まれたアンカーは、そのままにしておくとサビが原因で外壁を汚したり、コンクリート躯体にひび割れを発生させる原因となりますが、アンカーバードは、撤去可能なため、これらの問題を解決します。

アンカーバードの機構

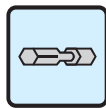


アンカーバード「ボディ」と「コーン」の2部品で構成されています。

施工に必要なツール



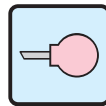
ハンマードリル
φ18.0mm
(3または4枚刃推奨)



六角ビット
(6mm)



インパクトレンチ
または
インパクトドライバー

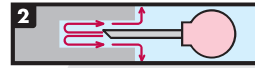


ポンプ
(孔内清掃用)

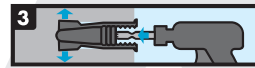
取付け手順



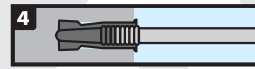
1 ハンマードリルを使用し、穿孔する



2 孔内を清掃する

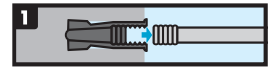


3 アンカーバード本体を孔内に挿入し、インパクトレンチまたはインパクトドライバーにてトルクを加える

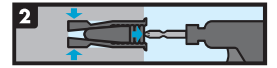


4 内部コーンの挿入量を検尺し、設置完了
※コーン挿入量が不足する場合は増し締めをしてください

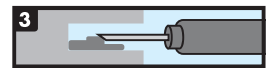
取外し手順



1 取付け部材を撤去



2 インパクトレンチまたはインパクトドライバーを使用し、内部コーンをボディ末端部まで戻す



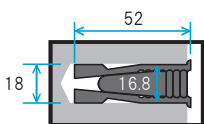
3 アンカーバード本体を抜き取った後補修材にて孔を充填する



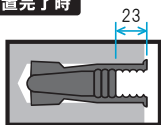
4 完了

断面図 [単位:mm]

本体挿入時



設置完了時



※コンクリート圧縮強度 21N/mm²

アンカーバード(コンクリート用)寸法表 [単位:mm]

※2019年5月1日現在

品番	ネジの呼び	アンカー外径	全長	有効ネジ長	アンカー埋込長さ	穿孔深さ	締付トルク	穿孔径	引張荷重※
AB-4052	W1/2	16.8	52	20	52	55	30N・m	18.0	25.82kN
AB-1252	M12	16.8	52	20	52	55	30N・m	18.0	25.82kN

※引張荷重は、引張試験時のコンクリート圧縮強度21N/mm²に基づく数値です

⚠ これはカタログ値です。使用に際しては、取扱説明書の手順に沿って施工してください。

⚠ アンカー本体を再使用する際は「再使用に関する注意事項」をよくお読みになってからご使用ください。

※製品改良の為に予告なしに仕様等を変更する場合があります。

※無断複写・転載禁止

御見積もり・ご相談などお気軽にお問い合わせください。

アンカーバード最新情報などお得な情報をお届けします。



「再使用に関する注意事項」のDLはコチラ



施工動画など詳細はコチラ

25本入
オープン価格



製造元
株式会社 ANCHOR BIRDS
〒425-0015 静岡県浜州市石坂上615-1